



平成 25 年 4 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社エクスネット
代 表 者 名 代表取締役社長 鈴木 邦生
(コード番号 4762 東証第一部)
問 合 せ 先 専務取締役 小林 親一
(TEL 03-5367-2201)

個人向け信託商品管理システムの提供開始について

株式会社エクスネット（社長：鈴木邦生）は昨今の社会的なニーズの高まりを受け、今後拡大が見込まれる「個人向け信託商品管理システム」の提供を開始しました。

「個人向け信託商品」のニーズとしては、下記のようなものが挙げられます。

- ・ 「財産の継承や贈与を円滑に行いたい」といった相続贈与に関するもの
- ・ 「資産を安定的に運用し老後の生活資金を計画的につくりたい」といった将来への備えに関するもの

これら注目度の高い社会的ニーズに対して、銀行を中心とした各金融機関が個人向け信託商品を提供することで取引拡大に繋がっていくという動きが広がっていることから、金融機関向け管理システムを提供します。

既に第一号ユーザーとして、株式会社三井住友銀行向けにサービスを開始しました。

個人向け信託商品の特徴として「受益権管理」と「合同運用金銭信託・運用口管理」が必要となります。具体的には以下の通りです。

- ・ 「受益権管理」
受託者（金融機関）が委託者（個人）の金銭を受託し、その後、委託者の指定した条件に従い受益者（金銭の受領者）に対して金銭交付を行います。委託者のニーズによっては受益者が複数の場合や信託期間中に変更される場合（例えば「委託者存命中は委託者自身が受益者、委託者逝去後はその相続人が受益者となる」ケース等）が考えられ、こうした複雑な条件に対応するため「受益権管理」が必要となります。
- ・ 「合同運用金銭信託・運用口管理」
単独では比較的小額な個人資金の運用効率向上のため、受託した金銭を合同で一括運用する場合、



「合同運用金銭信託・運用口管理」が必要となります。

この「受益権管理」と「合同運用金銭信託・運用口管理」を提供するシステムを汎用的に提供する例は非常に珍しく、エクスネットが業界に先駆けてサービスを提供します。

従来は金融機関が自社でシステム開発を行う事が主流でしたが、サービス提供の形態によって自社開発に比べてより柔軟な対応が可能となり、導入期間とコストを大幅に削減できます。

エクスネットは、今後も多様化する機関投資家／金融機関のニーズに幅広くお応えして参ります。

報道機関向け問い合わせ先
株式会社エクスネット
03-5367-2202
担当：柳原・社田（やしろだ）

以上